

平成26年度文部科学省指定 スーパーグローバルハイスクール（5年間指定）

2015 SGH通信

【2年生配布用】

No9 岐阜県立大垣北高等学校 SGH 推進部

いよいよ 5領域別の「課題研究」がスタートします！



沖縄フィールドワーク及びそのまとめとしてのプレゼン作成・発表を終えて、SGHとして取り組んできた2年生前半の山場を一つ過ぎました。事前研修・当日の研修参加を通して、視野の広がりを実感した人も多いことと思います。また、沖縄尚学高校生徒との交流も、考え方の異同を含めて良い刺激になったことでしょう。これからの半年間は、11月の日本語論文完成及び12月のプレゼン発表に向けて、

ゼミ形式を基本として、探究的な学習を推進していく時期となります。週2時間で完成に漕ぎ付けるには、十二分な時間が与えられているとは言えません。研究目的と時間的な目処を天秤にかけながら、限られた環境の中で最大限の成果を求めて、個々の持てる能力を發揮してくれることを願っています。

【ゼミ形式授業の日程】

月 日	曜	全体の実施内容	実施に関する注意事項
7月8日	水	研究計画書の作成	PC教室において、今年度の研究テーマを設定し、目的確認した後、リサーチクエスションの作成を行います。
7月15日	水	ゼミ① 大学教官による指導	2週間のうち、最低1回は大学の先生方からの指導を受けます。内容は、研究計画書の記載事項に関わっています。
7月22日	水	ゼミ② //	
夏休み中		指導者の研究室訪問（希望者）	夏休み前に、大学の先生方が来校された際に打ち合わせを行います。
9月9日	水	ゼミ③ 大学教官による指導	ここでも2週間のうち、最低1回は指導を受けます。夏休み中に読んだ論文等を如何に研究に生かすか考えます。
9月16日	水	ゼミ④ //	
10月7日	水	ゼミ・論文作成①	リサーチクエスションに答えながら、論文完成に向けて個人研究を進めていきます。この期間は、ゼミ担当の先生方（本校教員）と研究の方向を確認しながらすすんでいきます。5,000字を目標に論文作成しましょう。
10月14日	水	ゼミ・論文作成②	
10月28日	水	ゼミ・論文作成③	
11月4日	水	ゼミ・論文作成④	
11月11日	水	プレゼン作成	各自が、研究内容を7分程度のプレゼンテーションにまとめ、発表会に向けて準備を行います。
11月18日	水	プレゼン作成・練習	
11月25日	水	5領域別課題研究発表会	各領域から1人の代表者を決定します。
12月2日	水	SGH発表会準備	詳細は、追って連絡しますが322名全員参加です。
12月11日	金	SGH発表会 (中川ふれあいセンター)	外部からお客様をお迎えして、代表者による発表会を行います。



「研究計画書」作成（7月8日・PC教室の活用）の主な流れ

◆目的 研究計画書を作成することで、7月～11月までの課題研究に見通しを付けると共に、作成した研究計画書を、大学の先生に見ていただき、御指導をいただく材料とする。

◆確認事項 本年度の研究は、「ゼミ形式」を採用する。この「ゼミ形式」とは、ある程度、研究の方向性が近い仲間と同一のゼミに属し、専門の大学の先生とファシリテーター役の本校教諭の指導のもと、「個人研究」を進める形式をとる。本校 SGH スローガンに基づき、「アジアの可能性に資する研究」という方向性は継続する。

◆作成過程

1 今までの SGH 学習の振り返り

【昨年度の研究テーマと研究内容の要旨】の記入

【昨年度の研究に利用した主な資料（出典）】の記入

【昨年度の研究における反省点とその改善方策】の記入

【本年度の沖縄フィールドワークで得られたもの】の記入



2 【研究テーマ】の記入 例：「カンボジアの医療格差解消を求めて ～政府の医療制度改革の提言～」

3 【研究の目的】の記入 ◇現状はどのようなもので、何が課題なのかをはっきりさせる。

◇その課題を解決するための研究は、誰のための研究になるのか。

◇その課題を解決して、どのような社会を構築しようと考えているのか。

4 【リサーチクエスチョン】の記入

◇研究テーマ（メインの問い）の答えを導き出すために、具体的な問い（RQ）に小分けして、探究活動を行う。

◇次の項目の【仮説】や【仮説検証に必要なデータ】もある程度想定しておく必要がある。



5 【仮説】の記入 ◇暫定的な答えですが、これがないと、次の必要なデータ探しに繋がりません。



6 【仮説検証に必要なデータは何？】 ★ここにしっかり取り組めた人が、良い論文を書くことができます。

◇RQ 1～3のそれぞれの仮説を検証するためには、どのようなデータを用いればよいのか、できる限り列挙し、研究計画書の空欄に書き込む。ここでは、インターネットに頼らず自分で想定することが大切です。

◇データを見ていく中で自分の予想が覆されることは当然あります。この場合、複数のデータをよりどころにして仮説に変更を加えることは、あり得ることです。

7 【印刷】

◇3部印刷してください。【1部・自分用】【1部・ゼミ教員用】【1部・大学教員用】

◇【1部・自分用】を用いて、大学の先生に2～3分で要領良く自分の研究計画を説明することになります。

◇【2部】は担任の先生に提出してください。

◇ 当日は、詳細な手引きを渡しますが、まず流れを頭に入れておいて下さい。